編 修 趣 意 書

（教育基本法との対照表）

※受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
30 － 22	小学校	音楽	音楽	第 4 学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27　教芸	音楽　402	**小学生の音楽 4**		

1. 編修の基本方針

編修の趣旨

私たちは音楽科の学習を通して子どもたちに「このような資質・能力を育みたい」と願いました。

●音楽によって豊かな人生を切り拓く力。

●音楽の幅広い知識や技能。

●主体的・対話的な学びによって得られる，汎用性高い学力。

こうした課題に取り組むために，次のようなことに留意して編修いたしました。

基本方針 1

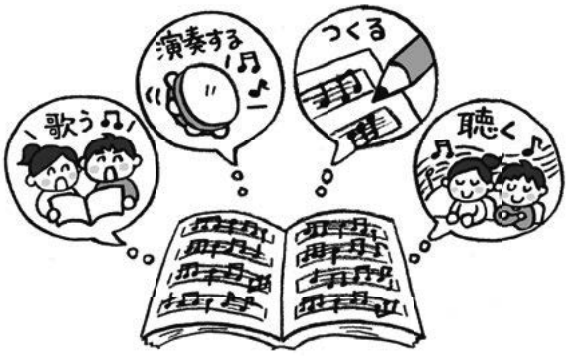
音楽で生活を豊かにする心を育みます。

音楽で社会や身の回りの人々とつながる学びを促します。

基本方針 2

音楽科の確かな学力を育みます。

系統的な題材構成と質の高い教材で確かな学びを支えます。



基本方針 3

主体的・対話的な学習を引き出し，深い学びを促します。

課題意識をもって，友達と対話，協働しながら学習することで，学びの質を深めます。

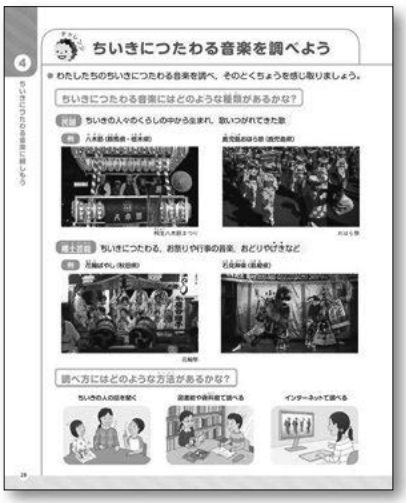
基本方針 1

音楽で生活を豊かにする心を育みます。

音楽で社会や身の回りの人々とつながる学びを促します。

1 生活に息づく我が国の伝統的な音楽文化との触れ合いを促します。

郷土の民謡や芸能を取り上げ，地域に伝わる音楽文化への興味・関心を促します。



（p.28）

（p.30・31）

2 様々な音に対する意識を高め，音を通したコミュニケーションを促します。

いろいろな楽器の音色に注目して，それを用いた音楽づくりをします。

（p.48・49）

3 音楽を通じてよりよい人間関係をつくる心を育てます。

童話「ごんぎつね」をもとにした歌を掲載しました。

（p.70・71）

SAMPLE…著作権の関係で楽譜の一部を見えないようにしています。

基本方針 2

音楽科の確かな学力を育みます。

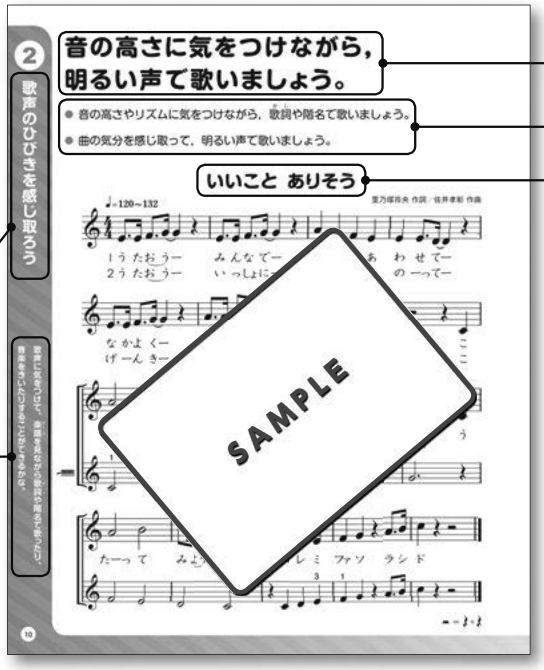
系統的な題材構成と質の高い教材で確かな学びを支えます。

1 題材と教材の緊密な関係が，焦点化した学習を実現します。

年間で９題材を設定し，それらに密着した教材が，ねらいの明確な学習を実現します。

●題材と教材の関連イメージ

題　材
題材のねらい
↓
学習目標
↓
教　材
活動文

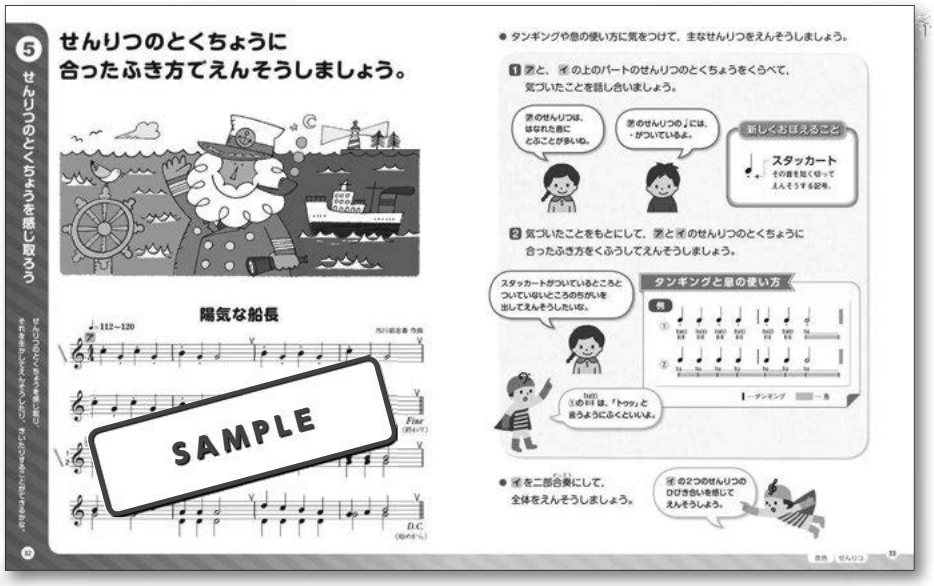


学習目標
活動文
教材
題材
題材のねらい

(p.10)

2 見やすく，スッキリとした紙面がスムーズな学習を実現します。

インクルーシブ教育の実現を目指し，特別支援教育や色覚特性の多様性などの観点から，白を基調とした紙面とし，情報の配置にも配慮しました。



(p.32・33)

3 見通しをもった学びを実現します。

目次の前に，１年間で学ぶ内容を視覚的に捉えることができるページを設けました。

「歌唱」「器楽」「音楽づくり」「鑑賞」に分けて示しています。

(p.2・3)

基本方針 3

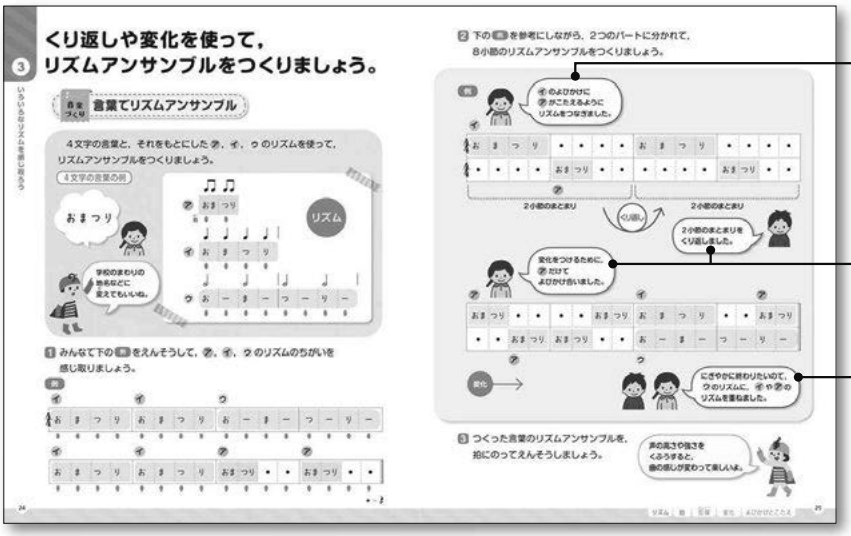
主体的・対話的な学習を引き出し，深い学びを促します。

課題意識をもって，友達と対話，協働しながら学習することで，学びの質を深めます。

1 知識の習得や理解の深まり，学びの広がりをキャラクターがサポートします。

2 主体的で対話的な学びを軸に学習を進めます。

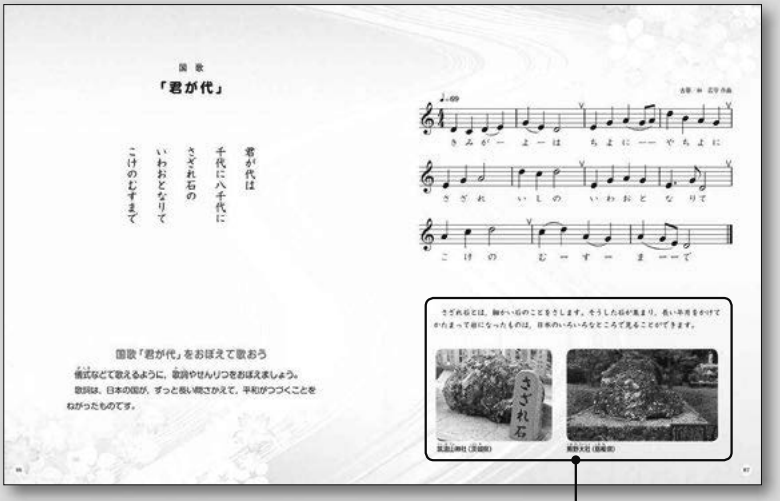
音楽科の学習は従来から「主体的・対話的」な要素を多く含んでいます。この特性を生かし，「主体的・対話的で深い学び」により迫ることができるように工夫しました。



特に意を用いた点

国歌「君が代」の尊重

国歌「君が代」への意識を高められるページを，すぐに開くことができる最終ページに設けました。



2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
①音楽で心の輪を広げよう	他者への敬愛の気持ちを高められる教材を掲載しました。（第三号）	p.6
	常時活動としてリズムに関する基礎的な学力を継続的に育成できる学習活動を設定しました。（第一号）	p.7
	「さくら さくら」を，美しい自然を大切にする視点で扱えるようにしました。（第四号）	p.8・9
②歌声のひびきを感じ取ろう	長調の音階について歌唱を通して自然に習得できる教材を掲載しました。（第一号）	p.10・11
	音の高さを工夫しながら，旋律をつくる学習活動を設定しました。（第二号）	p.15
③いろいろなリズムを感じ取ろう	簡単な手拍子によるアンサンブルを通して，音楽活動に必要な知識や技能を身に付けられるようにしました。（第一号，第二号）	p.20・21
	言葉をもとにしたリズムを繰り返したり変化させたりして，創造性を培う学習活動を設定しました。（第二号）	p.24・25
④ちいきにつたわる音楽に親しもう	「こきりこ」を取り上げて，その背景を知ったり，まねて歌ったりすることをきっかけに，自分の住んでいる地域に伝わる音楽に対する興味・関心を高められるようにしました。（第五号）	p.26 ～ 31
⑤せんりつのとくちょうを感じ取ろう	音楽の諸要素の働きが旋律や音楽の特徴とどのように結び付いているかを考える活動を通して，幅広い知識を得られるようにしました。（第一号）	p.32 ～ 37
	音楽の仕組みの働きが旋律の特徴とどのように結び付いているかを考える活動を通して，幅広い知識を得られるようにしました。（第一号）	p.38・39
⑥せんりつの重なりを感じ取ろう	合唱や合奏の活動を通して，友達と協力して活動する場面を設定し，自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。（第三号）	p.40 ～ 47
	リコーダーのサミングの技能を身に付けて，高音を用いた合奏を楽しめるようにしました。（第一号）	p.43
⑦いろいろな音のひびきを感じ取ろう	様々な打楽器の音色や音楽の仕組みを用いて，創造性豊かに音楽をつくることができるようにしました。（第二号）	p.48・49
	いろいろな木管楽器やその音色に関する知識を得られるようにしました。（第一号）	p.52 ～ 55
⑧日本の音楽でつながろう	ことや三味線，三線といった楽器とその音色に関する知識を得られるようにしました。（第一号）	p.56・57
	我が国に古くから伝わる楽器を通して，我が国の伝統と文化に親しみをもてるようにしました。（第五号）	p.56 ～ 59
	日本の音階を用いて旋律をつくる学習によって創造性を培えるようにしました。（第二号）	p.60・61
⑨曲の気分を感じ取ろう	それぞれの役割の大切さを自覚しながら，協力して合奏の活動に取り組めるようにしました。（第三号）	p.64・65
歌いつごう 日本の歌	我が国で長く歌い継がれている，季節にまつわる歌を歌うことを通して，我が国の伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました。（第五号）	p.68・69
みんなで楽しく	合唱や合奏で互いのパートをよく聴き合って演奏する活動を通して，自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。（第三号）	p.75，78
国歌「君が代」	国歌「君が代」に歌われている「さざれ石」について知ることを通して，国歌「君が代」を尊重する態度を養えるようにしました。（第五号）	p.86・87

編修趣意書

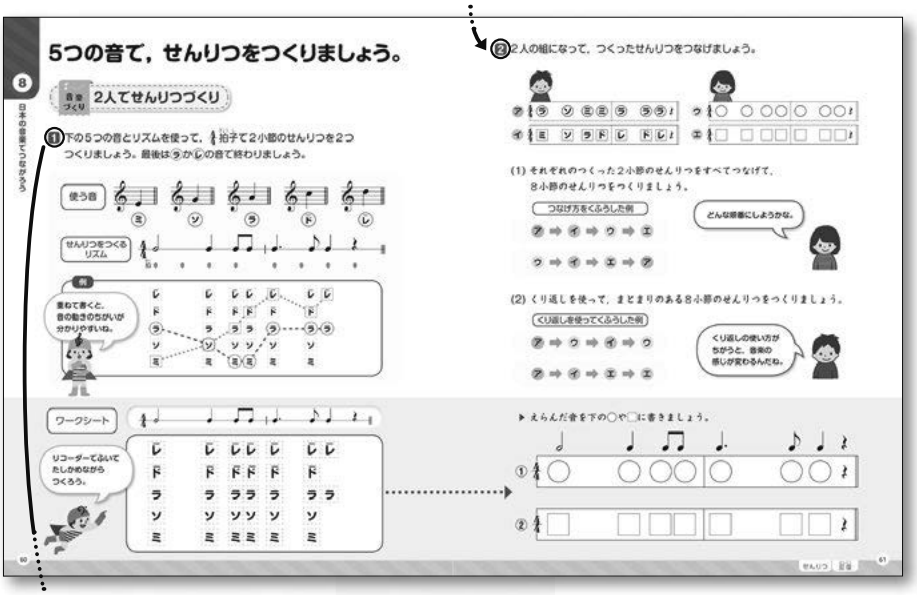
（学習指導要領との対照表）

※受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
30 － 22	小学校	音楽	音楽	第４学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27　教芸	音楽　402	**小学生の音楽４**		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 学習の流れを見通しながら，スムーズな学習ができる

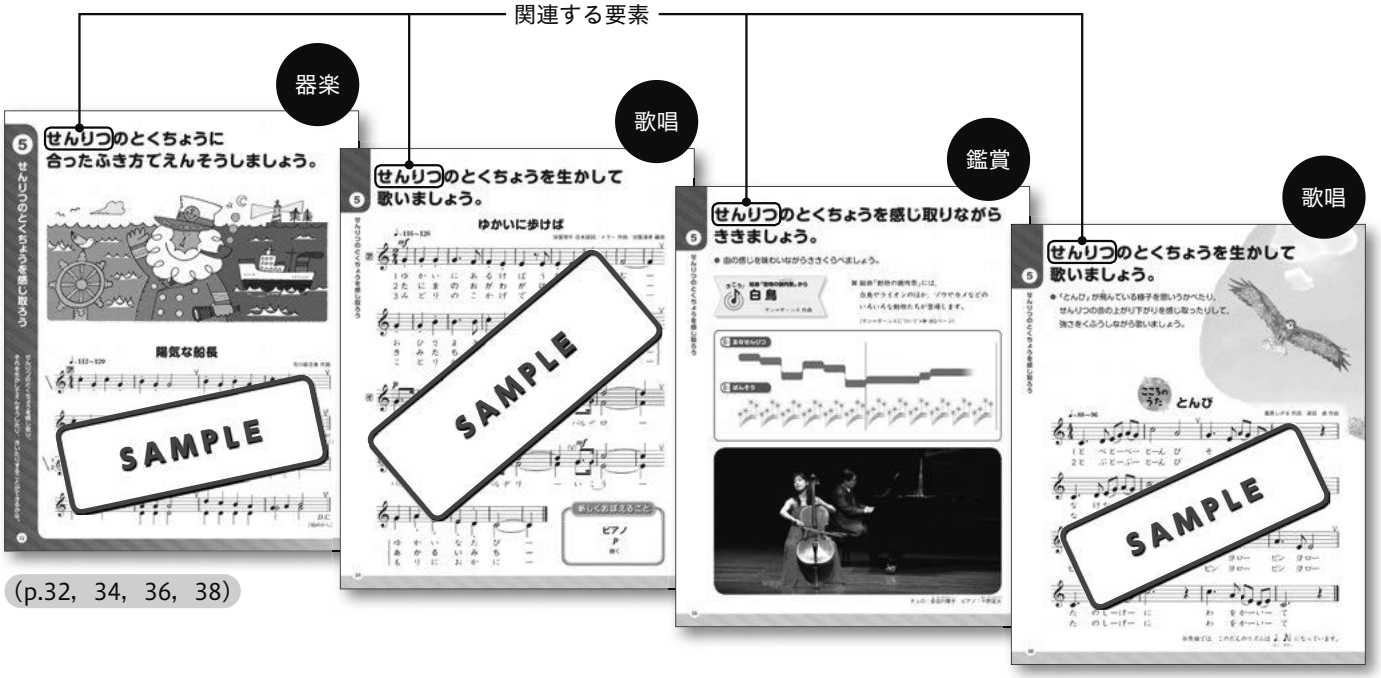
学習手順を番号で示して，流れを分かりやすくしています。



（p.60・61）

2 系統的な題材構成・題材のねらいに即した教材

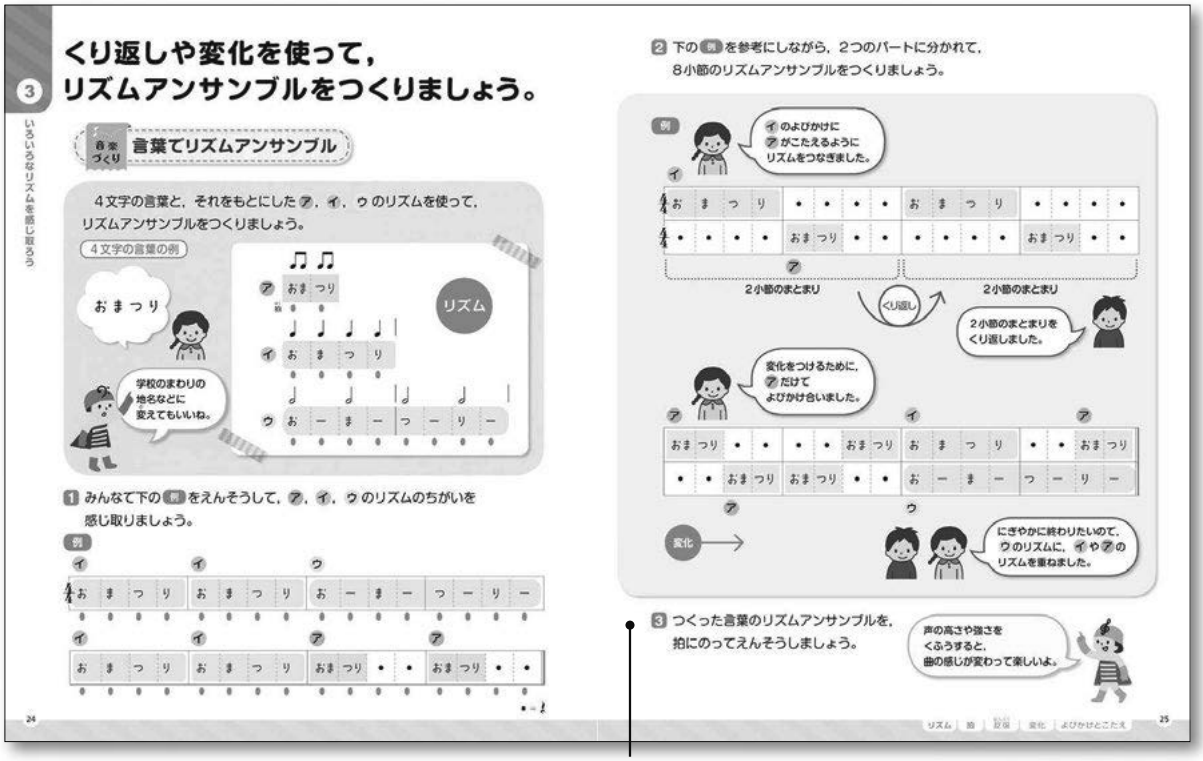
学年間のつながりを見通した題材のもとに，題材のねらいに即した教材を配しています。



（p.32，34，36，38）

3 主体的・対話的で深い学びを引き出す紙面

同じ言葉を使用した３種類のリズムを，グループ内で繰り返したり変化させたりする学習を通して，主体的・対話的で深い学びを引き出す活動を設定しました。



（p.24・25）

これらの音楽づくりの学習は，
プログラミング教育の視点でも活用できます。

4 特別支援教育やユニバーサルデザインの視点

写真やイラストの上の文字や絵譜については，デザイン性を考慮しつつ，見やすさにも配慮しました。

学習のポイントとなる絵譜がイラストに
埋もれないようにしています。

（p.66・67）

文章の読みやすさを重視し，背景を白地にしています。

5 社会と音楽の関わりへの意識を促す教材

地域に古くから伝わる民謡や芸能への興味・関心を引き出します。

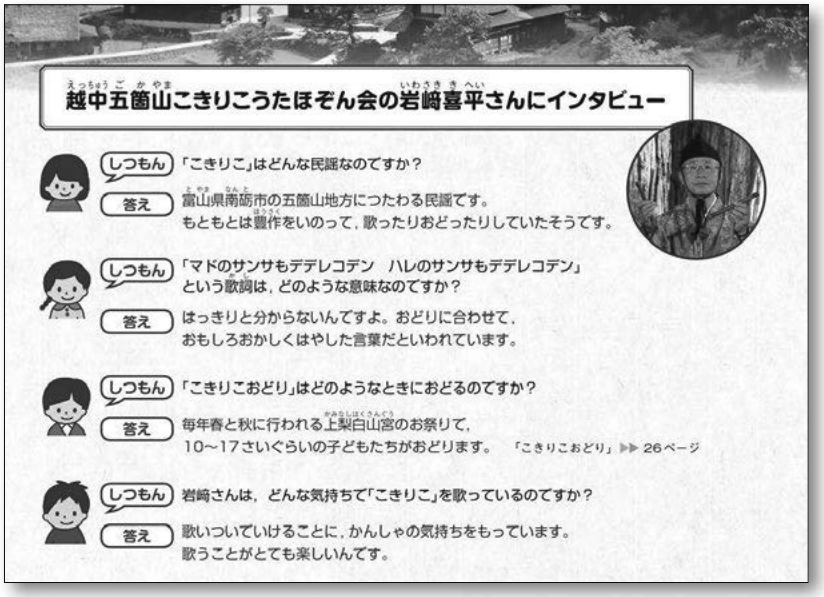
（p.30・31）

小学生が受け継ぐ芸能（島根県）

（p.29 下）

6 我が国の文化を大切にする心情を育てる教材

写真や説明文に加え，保存会の方からのコメントも紹介するなど，郷土に伝わる民謡や芸能に，興味・関心をもって触れられるようにしました。



（p.29 上）

7 ICT 機器の活用への対応

学習をサポートするコンテンツを，紙面上の二次元コードを読み取ることによってICT機器で閲覧することができるようにしました。

演奏者の所属するオーケストラのウェブページに誘導します。

（p.53）

8 教科書の特色

基本事項	教育基本法の遵守	●教育基本法第二条の「教育の目標」を達成するため，次のような点を重視して編修しました。 ①音楽で生活を豊かにする心を育む。　②音楽科の確かな学力を育む。 ③主体的・対話的な学習を引き出し，深い学びを促す。
	学習指導要領の遵守	●学習指導要領に示された音楽科の目標を踏まえ，指導すべき内容を網羅しました。
内容	系統性	●児童の発達段階を考慮して，６年間を見通した学習プログラムである「題材」を各学年に設定し，題材のねらいに即した教材を配列して系統的な学びを実現できる内容としました。
	配列・分量	●学習をスムーズに進められるよう題材及び教材を配列し，学習内容の分量も適切になるよう配慮しました。
	学習意欲・主体的な学習態度の育成	●目次とは別に，歌唱，器楽，音楽づくり，鑑賞の学習内容について，１年間の学びを俯瞰できるページを設けました。(p.2・3)
	歌唱教材	●児童の声域や心身の発達段階を考慮して，音域や難易度，歌詞の内容を吟味しました。
	器楽教材	●児童の発達段階を考慮して，段階を踏みながら確実に演奏技能を習得できるようにしました。
	音楽づくり教材	●学習の手順を分かりやすく示すとともに，吹き出しなどで児童の考えや工夫の視点を例示することによって，児童の「思いや意図」をどのように生かすのかが分かるように工夫しました。
	教材のユニバーサルデザインへの取り組み	●児童の発達段階に応じて，多くの児童が無理なく取り組める音域や難易度の中で教材を選択・開発しました。
	鑑賞教材	●児童の発達段階と題材のねらいに即した教材を選択し，学習を進めるうえで有益な写真や絵譜，譜例なども示しました。
	主体的・対話的で深い学び	●「主体的・対話的で深い学び」を実現するために参考となる学びの手順や工夫の視点を具体的に示しました。(p.24・25，33，35，39，48・49，60・61)
	伝統と文化の尊重	●我が国の伝統的な音楽に関わる題材を配置し，それらに親しみながら，表現したり鑑賞したりできるようにしました。(p.26 ～ 31，56 ～ 59)
	国際理解	●国際理解教育や外国語活動の学習との関連から，英語の歌を掲載しました。(p.77)
	〔共通事項〕	●教材を指導する際の目安となる，〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素をページ下に表示し，「ふり返りのページ」でも一覧できるようにしました。
その他	ICT 機器の活用	●紙面上の二次元コードから URL を読み取ることによって，指導に役立つ画像などのコンテンツを閲覧できるようにしました。
	特別支援教育への配慮	●特別支援教育の専門家から助言を得て，楽譜や文字の配置や見せ方を工夫し，見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。
		●色覚問題の専門家から助言を得て，色の見分けがつきにくい児童の色覚特性にも配慮した配色にしました。また，学習に必要な情報が，色の違いのみに依存しないよう工夫しました。
	文字・印刷・製本	●文字は見やすく，過度にデザイン的にならないよう配慮しました。
		●印刷は鮮明で，製本は開きがよく安全で堅牢な「糸中綴じ方式」を採用しました。６本の糸はそれぞれ独立しており，うち１本が損傷しても影響はごく軽微です。

2. 対照表

図書の構成		学習指導要領の内容																			
ページ	教材名	歌唱					器楽						音楽づくり						鑑賞		〔共通事項〕	
		ア	イ	ウ			ア	イ		ウ			ア		イ		ウ		ア	イ	ア（要素）	イ（仕組み）
				（ア）	（イ）	（ウ）		（ア）	（イ）	（ア）	（イ）	（ウ）	（ア）	（イ）	（ア）	（イ）	（ア）	（イ）				
6	花束をあなたに	○	○	○	○	○															○	
8	さくら さくら	○	○	○	○	○															○	
10	いいこと ありそう	○	○	○	○	○	○	○		○		○									○	
12	◎パパゲーノとパパゲーナの二重唱																		○	○	○	○
14	歌のにじ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○			○	○				○	
16	まきばの朝	○	○	○	○	○															○	
18	風のメロディー	○	○	○	○	○															○	
20	楽しいマーチ						○	○		○	○	○									○	○
22	いろんな木の実	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									○	
24	言葉でリズムアンサンブル												○	○		○		○			○	○
26	◎こきりこ	○	○	○	○														○	○	○	
32	陽気な船長						○	○	○	○	○	○									○	
34	ゆかいに歩けば	○	○	○	○	○															○	
36	◎白鳥／◎堂々たるライオンの行進																		○	○	○	
38	とんび	○	○	○	○	○															○	○
40	パレード ホッホー	○	○	○	○	○															○	
41	◎ファランドール																		○	○	○	
42	オーラ リー						○	○	○	○	○	○									○	
44	もみじ	○	○	○	○	○															○	○
48	打楽器の音楽												○	○	○	○	○	○			○	○
50	茶色の小びん	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									○	
54	◎メヌエット／◎クラリネット ポルカ																		○	○	○	
56	◎「さくら」より　他																		○	○	○	
58	ことをひいてみよう						○		○	○	○										○	
60	２人でせんりつづくり												○	○		○	○	○			○	○
62	赤いやねの家	○	○	○	○	○															○	
64	ジッパ ディー ドゥー ダー						○	○	○	○	○	○									○	
66	◎山の魔王の宮殿にて																		○	○	○	○
68	歌いつごう 日本の歌	○	○	○	○	○															○	
70	ごんぎつね	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									○	
72	いつだって！／林の朝	○	○	○	○	○															○	
74	いのちのオーケストラ／子どもの世界	○	○	○	○	○															○	
76	チャレンジ！／ Sing a rainbow	○	○	○	○	○															○	
77	雨の公園／ハッピー バースデイトゥ ユー						○	○	○	○	○	○									○	
78	スーパーカリフラジリスティックエクスピアリドーシャス						○	○	○	○	○	○									○	
86	国歌「君が代」	○	○	○	○	○															○	

編 修 趣 意 書

（発展的な学習内容の記述）

※受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
30 － 22	小学校	音楽	音楽	第４学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27　教芸	音楽　402	**小学生の音楽４**		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
84	ステップアップ 休符と名前	1	第３　指導計画の作成と内容の取扱い　２（９）に関連して，音楽にかかわる用語について，より知識を広げる。	0.25 ページ
85	ステップアップ イ短調の音階	1	２　内容　Ａ表現（１）ウ（ア）及び（２）ウ（ア）の「ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能」と関連して，音階の種類について，より知識を広げる。	0.25 ページ
			合計	0.5 ページ

（「類型」欄の分類について）

１…学習指導要領上，隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても，当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容

２…学習指導要領上，どの学年等でも扱うこととされていない内容